

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	CanDay赤塚教室		
○保護者評価実施期間	2025年1月10日		～ 2025年1月17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	50人	(回答者数) 27人
○従業者評価実施期間	2025年1月10日		～ 2025年1月17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4人	(回答者数) 4人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども達が楽しんできていること。	子どもの好きな事や発達段階に合わせて、支援を変えている。	子どもの『好き』を見逃さず、より深く子どもの姿を見ていく。
2	保護者のニーズや子どもの特性を適切に理解し、自発管、職員全体で情報共有をし、支援計画をたてているところ。	身体機能や運動能力の向上、日常生活に必要な力を向上するような課題を取り入れている。	子どもの変化に気付き、職員同士で共有し合い、アセスメントを行っていく。
3	日々、職員間で気が付いた事などを共有し、子どもの姿を把握して支援を行えること。	粗大運動の時間では積極的に他児との関わりを持てるよう、子どもの様子に合わせて関わっている。	その時々の子どもの成長・様子に合わせてプログラムを組んでいく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者間の交流が持ちにくいところ。	・同じ時間に来る子どもが少ないので、親同士の交流がしにくい。スペースとしても保護者を集められない。 ・保護者会を開催しても参加が少ない。	・対象を分割した保護者会の開催。 ・イベントの機会を増やし、交流の場を作る。
2	時間に余裕がなく、満足に子どもの様子や施設運営・方針についての相談、報告、共有がしづらく、またその結果も受けづらいところ。	・話をする、話を聞くという場面が少ない。	・一人一人、自分事として考える。
3	個別療育を基本として行っているため、集団(幼稚園・保育園)での困りごとに対しての様子が支援中には見えないことも多い。	・子ども同士や同年齢同士の関わりの場がなかなか持てない。 ・集団でのルールや関わり方の経験の場をあまり作れていない。	・集団療育の機会を増やし、子ども同士の関わりや集団でのルールを知り、経験できる場を作る。 ・集団あそびの楽しさを感じられるよう支援する。